

第 17 回司法支援建築会議講演会「躯体を巡る建築紛争の実態と対応」

司法支援建築会議は会員および広く一般に建築紛争の実態やその解決に結びつく司法支援について講演会を実施しています。今回は建築物を支える「躯体」に関して設計責任・施工者責任・監理者責任の観点から、建築紛争の実態と紛争につながる不具合事象について「構造スリット」などを含めて広く議論を行います。

主 催：日本建築学会 司法支援建築会議運営委員会普及・交流部会

日 時：2016 年 11 月 28 日（月）13:30～17:30

会 場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

プログラム： 司 会 宮内 靖昌（普及・交流部会／大阪工業大学）
記 録 宇於崎勝也（普及・交流部会／日本大学）

1. 開会挨拶（5 分）13:30～13:35
辻本 誠（司法支援建築会議運営委員会委員長／東京理科大学）
2. 主旨説明（10 分）13:35～13:45
井上 勝夫（司法支援建築会議 普及・交流部会長／日本大学）
3. 基調講演「近年の建築紛争の実態」（40 分）13:45～14:25
齋藤 大（東京地方裁判所民事 22 部判事／裁判官）
4. 主題解説（躯体を巡る建築紛争の実態と対応）
 - 4-1 構造に関する設計者・施工者・監理者の責任（30 分）14:30～15:00
大森 文彦（東洋大学法学部教授／弁護士）
 - 4-2 構造設計における建築紛争の要因（30 分）15:00～15:30
かねぼこ よしはる
金箱 温春（工学院大学教授／金箱構造設計事務所 代表取締役）
 - 4-3 施工不良を巡る建築紛争の実態（30 分）15:30～16:00
宮本 慶中^{けいちゅう}（構造企画KDM代表／一級建築士）
 - 4-4 構造における工事監理者の責任（30 分）16:00～16:30
柴田 亮子（司法支援建築会議 調査研究部会／弁護士）
- （休憩）（10 分）16:30～16:40
5. 総合討論（45 分）16:40～17:25
進行：一瀬 賢一（普及・交流部会／大林組）
6. まとめ・閉会（5 分）17:25～17:30
山本 康友（普及・交流部会／首都大学東京）

参加費：会員・会議会員 1,000 円、会員外 2,000 円、学生 500 円

定 員：200 名

申込み：[WEB 申込み](#)、または FAX にて「催し物名称、会員番号、氏名、勤務先・所属、電話番号」を明記のうえ申し込む。

問合せ：司法支援建築会議事務局 三島

TEL：03-3456-2051 FAX：03-3456-2058 E-mail：shiho@aij.or.jp